

まちと私の サステナビリティ 研究会

私たちの選択は、
暮らし・このまちの
遠くない未来に直結している。

便利な暮らしに慣れ親しんだ私たちは、
どう選択すれば、自分の暮らしと、
それを支える地域や自然とのつながりを
紡ぎ続けられるのか？

現地 & オンライン開催
参加費無料

現地会場：
GEOCセミナースペース

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70
国連大学ビル1F

プロローグ「都市の脆弱性を知る」

2月24日 火 15:00～17:00

私たちの暮らしが、いかに多様な人工的システムに支えられていて、何に依存しているのかを浮き彫りにしながら、本研究会のねらいを説明します。

第1回「モノの循環を知る」

3月12日 木 10:00～12:00

ごみ処理や資源循環のシステムが止まった時、私たちの生活に何が起きるのかを探究します。

※本研究会は、2025(R7)年度から全6回で構成される連続企画を予定しています。

詳細リンク

詳細・申込み方法は裏面・HPからご確認ください。

主催：環境省関東地方環境事務所、関東地方環境パートナーシップオフィス(関東EPO)

お問合せ：関東EPO 山本・高橋 TEL: 03-3406-5180 Mail: kanto-epo@geoc.jp



とくに都市の脆弱性に焦点を当て、「もしも、私たちの暮らしを支えるシステムが止まったら」という視点から、これからのライフスタイルを共に見つめ直します。

こんな方におすすめです

都市部で、自治・地域づくり・環境保全など地域に関わる活動に携わりながら、「このまちとどう関わり続けるか」に課題意識や関心をもつ方。

自治体職員、NPO、企業、学生など、立場を越えて共に考えたい方の参加をお待ちしています。

企画概要

- 開催形式: ハイブリッド(対面 + Zoom配信)
- 現地会場: GEOCセミナースペース
(〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F)

● モデレーター



立教大学大学院社会デザイン研究科 特任教授

滝口 直樹氏

プロローグ

2月24日 火 15:00～17:00

「都市の脆弱性を知る」

都市部における便利な暮らしを維持している様々なシステムと、それを可能にしている要素が何かを理解するために、システムが止まった時に何が起きるかを、東日本大震災・熊本地震など、実際に起きた災害を切り口に考えます。



一般社団法人九州環境
地域づくり 代表理事
九州地方環境パートナー
シップオフィス

澤 克彦氏



(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
東北地方環境パートナー
シップオフィス

鈴木 美紀子氏

第1回

3月12日 木 10:00～12:00

「モノの循環を知る」

都市部における便利な暮らしを、一つのテーマ「モノの循環」に焦点を絞って、私たちの暮らしに欠かせない「モノ」が、どこから来て、どのような仕組みで循環しているのかを、都市の視点から整理します。
災害時の事例も手がかりに、モノの循環が止まったときに何が起きるの
かを知り、日常の暮らしとサステナビリティのつながりを学びます。



立教大学 環境学部開設
準備室 准教授

森 朋子氏

研究会の企画について

本研究会は、2025(R7)年度から2027(R9)年度にかけて、各年度2回ずつ、全6回で構成される連続企画を予定しています。

参加された方には、メールにて、次回のご案内をさせていただきます。

ひもとく
見通す

とらえる
深める

つなげる
落とし込む

① | プロローグ回

都市の暮らしが依存しているシステムを明らかにし、持続性について考えるべきテーマを洗い出す。

②③④⑤ | テーマ回

ゴミ・水・エネルギー・モビリティなど、システムを多面的に捉え、暮らしとのつながりの理解を深める。

⑥ | エピローグ回

暮らしを支えるシステムの全体像をとらえ、暮らしの選択肢を見つめ直し、行動につなげる。

申込〆切

各開催日の2営業日前まで

プロローグ回: 2/19(木) 第1回: 3/10(火)

申込方法

以下のリンクまたは右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/EHn8uftzb8?origin=lprLink>

